



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台 1F
編集：全難聴事務局
電話：03(3225)5600
FAX：03(3354)0046
URL：<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

👉 「障害者雇用納付金に基づく助成金」制度への要望書（9月4日）

納付金制度による障害者雇用のための助成金は、事業者の負担を軽減し、障害者の雇用の促進や雇用の継続を図ることを目的としています。

しかし現状として要約筆記者の派遣は手話通訳等委嘱助成と同等の扱いをされていません。



これに対し、かねてより全難聴は**新谷副理事長**が、厚労省との会議の席などで強く改善を要望してきました。

9月4日、**高岡理事長**は、全要研の三宅理事長とともに、要約筆記への本制度の適用を求めて連名での要望書を提出しました。

まず東京霞ヶ関の厚労省内「障害者雇用対策課」に要望書の提出を行いました。そして同日に千葉へ移動し、幕張にある実質的な助成を行う機関である独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構へも同文の提出をしました。

障害者雇用対策課長は、新任の藤枝課長で、民間への出向後9月1日に帰任したばかりでした。全難聴からの急な面談要望でしたが、当事者からの実質的な声を聞きたいという意向で速やかに対応していただきました。

高齢・障害・求職者雇用支援機構では、笠田助成審査課長はじめ3名の職員の方が対応されました。省令が方向性を示すので、改正があれば即座に対応するとの回答でした。



要望書は提出しましたが、活動はこれからです。

厚労省新任の課長に対し、必要な情報を伝え、省令の改正に向けて進む必要があります。両理事長は、引き続き粘り強く要望を続けていきます。

今回の要望書は、全難聴ホームページ内に全文掲載しております。

http://www.zennancho.or.jp/special/Petition_on_grant130904.html

(全難聴トップ>中央対策>「障害者雇用納付金に基づく助成金」制度への要望書)

👉 「人工内耳の日」記念大会2013報告（9月22日）

9月9日「人工内耳の日」にちなんで、人工内耳友の会〔ACITA〕主催、全難聴と声援隊共催で9月22日の日曜日に東京都の臨床福祉専門学校で行われました。

午前中は、シュタイガー知茶子声援隊代表より、「難聴児療育最前線」に関する報告と、長崎ベルヒアリングセンター神田幸彦院長より、「医療の進歩を療育に活かしてほしい」と題した講演が行われました。

午後のプログラムは、松田法夫 ACITA 会長、今野聡前事務局長、高岡理事長、瀬谷理事による、「人工内耳リハビリの現状と近未来への期待」に関するパネルディスカッションが行なわれました。

※この中で瀬谷理事が提言した「きこえの健康支援センター」構想はパネル

ーの中では唯一、現段階の聞こえの状態という話題を離れたユニークな発表となりました。

コーディネーターを務められた内藤明先生(臨床福祉専門学校副校長)から現在のリハビリテーションとハビリテーションに対する「満足と納得」をテーマにパネラーに意見を求められましたが討議が深まらないまま散会したのは残念でした。

午前中のお二人の方からの報告の内容が素晴らしかったこともあり、今後の課題です。(佐野)

会場2F の託児所には、補聴器や人工内耳を装用した難聴児を預かるコーナーが設けられました。

託児所入口は、子どもたちの絵や飾りで彩られ、室内では言語聴覚士を目指す若手や声援隊スタッフが、絵本やゲームなどでシンポジウム会場とは違った空間を作り出していました。

託児所内の子どもたちは、健聴児も難聴児も一緒に楽しい時間を過ごせたようです。



📌 国際福祉機器展（9月18日～20日）

福祉機器、施設用品及び、支援システムに関する展示会が東京ビッグサイトで開催されました。

出店者数は、600社を超え、介護用品や、援助機器から、ケアマネージャー勤務管理システムまで、幅広い分野からの展示が、広いビッグサイト東棟を埋めていました。

期間中は、シンポジウム、セミナーなどが数多く開催され、3日間の来場者数は主催者発表で12万人とのこと。

展示エリアでは、プラスヴォイス、MASC、アイセックジャパン、CS 統一機構、NICT 情報通信研究機構などによる音声認識や文字表示に関する開発製品の展示が行なわれていました。



全難聴便り No.62 でご紹介した、「最新音声認識アプリ」はそれぞれ実際に体験することができました。

メディアアクセスサポート（MASC）は、10月に開催される東京国際映画祭にて、お披露目予定の iPad で使用する映画字幕表示ソフト「おと見」を先行展示していました。

秋田県議会にて、一般質問

照井理事より秋田県議会報告がありました。

9月24日開催の平成25年第2回定例会《9月議会》にて、「耳マーク表示版設置について」そして「要約筆記派遣」への佐竹秋田県知事の見解を正す質問がありました。県庁での表示版の設置や、要約筆記派遣費用について具体的な県としての対応を問う形です。

この他、障害者雇用についても、質問が行なわれました。

知事答弁など詳細は、照井理事より次号にて報告があると思います。

📌 理事の動き（9/1～9/30）

- 9月9日 視聴覚障害者関連4団体勉強会（高岡）
- 9月9日 聴覚障害者制度改革推進中央本部拡大本部会議（高岡、佐野）
- 9月11日 人工内耳大会会場下見（小川）
- 9月17日 JDF 差別禁止法小委員会（新谷）
- 9月19日 JDF 企画委員会（佐野）
- 9月22日 人工内耳の日記念大会（高岡、瀬谷、佐野、小川）
- 9月27日 所沢市要約筆記者養成講習会（高岡）
- 9月28日～29日 東北ブロック大会（理事多数参加）
- 9月30日 JDF 幹事会（新谷）
- 9月30日 総務省字幕放送に関するグループ調査（川井、小川）

📌 事務局報告

- 9月9日 視聴覚障害者関連4団体勉強会
- 9月17日 沖縄県東京事務所来所
- 9月18日 要約筆記事業研修会案内発送
- 9月22日 人工内耳の日記念大会
- 9月27日 機関誌発行
- 9月30日 全難聴便り No. 64 発行

《予定》

- 10月5日～6日 第15回関東ブロック女性部研修会
- 10月13日 第24回兵庫県難聴者の集い
- 10月16日 全国統一要約筆記者認定試験説明会（東京会場）
- 10月23日 全国統一要約筆記者認定試験説明会（広島会場）
- 10月27日 第28回東京都中途失聴・難聴者の集い
- 10月31日 全難聴便り No. 65 発行

ブロック大会の記事をお願いします。

左記のとおり、各地で全難聴の地域ブロック活動が盛んです。

全難聴事務局では、情報を捉えて、ブロック活動の報告を便りの掲載する方向ですが、今のところ全国各地の大会の情報すべてを把握できていません。

ぜひ、皆様の地域活動を広くアピールするために、報告文をお寄せください。

全難聴便りを皆様の活動情報の発信のために活用していただきたいのです。

字数、形式など問いません。また、支障のない範囲で皆様の画像などありましたら、お寄せください。

By 事務局

訃報

元社会局更生課長 板山 賢治氏（87歳）が病氣療養中のところ、平成25年9月22日（日）午前6時31分にご逝去されました。

板山氏は元全難聴顧問として、当会の発展に寄与されました。東京聴力障害者情報文化センターの役職、阪神淡路大震災の頃の全難聴に対するご指導もありました。JD や JDF との関係づくりにおいても ご助言をいただきました。今日の全難聴に対しても、総会で講演いただいたこともありました。

謹んでご冥福をお祈り致します。